

九州に於ける社会民衆黨の壓倒的盛頭に依る九州支部聯合会の活動は、本年の全日月を通じて、殆ど不眠不休、伊藤書記長を初めとする全役員及び常任執行委員等の多忙に苦しみながらの精進奮闘は、實に涙ぐましくばかりであった。吾が八幡支部は、或は自發的に、或はその指令を受けて、絶へず聯合会の活動を援助し來つた。今其の主なるものを摘記すれば、

- 一月 嘉穂郡縣會議員補欠職に於ける候補者花山清君の應援
- 一月 門司市縣會議員補欠職に於ける候補者山ノ内義治君の應援
- 三月 嘉穂郡山田町々議戰應援
- 六月 花山君再度の應援
- 七月 企救町議戰應援
- 八月 遠賀、鞍手、嘉穂三郡下に於ける龜井代議士議會報道及び黨勢擴張遊說應援

五、會計報告

(自昭和四年一月二十九日 分會ノ分ヲ含マズ)
(至昭和四年十月三十一日)

(一) 収 入 之 部	一千五百八十四圓二十錢
黨 費	二〇〇圓
議員歳費寄附金	一八〇〇〇
出張議員寄附金	一一五〇〇
黨維持費	三五五〇
演說會入場料	四六五〇
一般寄附	一三八三〇
借入金	四五〇〇〇

(二) 支 出 之 部

一千五百八十四圓二十錢	黨本部納入金(機關紙代ヲ含ム)
圓 錢	
一二〇、〇〇	通信費
三五、八九	交通費
九七、五三	演說會々場費
四四〇、〇〇	宣傳費
一四一、七〇	選舉運動費
六二四、一三	雜費
一二四、九五	

六、第五十六議會に使せる龜井代議士の活動

普選最初の戦に際會して。吾國無産階級の政治的發達史の上に。最も輝しき名を獲ち得たものは。言ふまでもなく全國無産派議員八名中。其の二名までも當選せしめたる福岡縣第二區の勤勞無産階級であつた。殊に其の中心地たる八幡勤勞無産大衆であつた。

八幡勤勞無産大衆の存在と其の民衆政治に對する熱き信念とは、確かに吾國全被抑壓民衆の無産階級意識と政治的自覺に對する一大警鐘の亂打であると共に。解放運動の行途を照明する一大炬火である。

而して。其の解放運動の先達として選ばれたる「吾黨の代表」龜井貞一郎君また、全黨全身を無産階級のために捧げんとする殉教的信念に於て。其の信念に基く闘争を通じての實踐的行動に於て、確かに、八幡勤勞無産階級ばかりでなく、全日本勤勞無産大衆の、またなき師表であらう。

吾が八幡支部は、數度、議會報道演說會を開催して、又は市議戰の戰陣を通じて、龜井代議士をして親しく、詳細に